

教えて! ドクター **+** Q&A

Q 糖尿病のお薬で痩せたと聞きました。が、本当なのでしょか? 教えてください。

A 糖尿病はインスリンの作用不全による慢性的な高血糖が持続し、様々な臓器の血管に障害を引き起こす血管病で、細小血管症として網膜症、腎症、神経症は有名であり、大血管症として脳梗塞、狭心症、心筋梗塞、末梢動脈疾患もあります。

肥満は糖尿病の発症の危険因子であり、肥満になり脂肪が溜まるとインスリンが効きにくくなり(インスリン抵抗性)、より一層インスリン

ンの分泌が増え、膵臓を疲弊させ、糖尿病を発症、進行させていきます。また、インスリンは別名「肥満ホルモン」と呼ばれ、取り過ぎた糖質を脂肪に変換させる働きがあり、このように肥満と糖尿病は負の連鎖関係にあります。

最近、肥満2型糖尿病の治療薬でインクレチン関連薬が注目され、その1つとしてGLP-1作動薬があります。GLP-1はもともと私たちの体であり、食事を摂ると消化管から分泌されるホルモンで、膵臓からのインスリン分泌を血糖依存性に促進し、消化管全体の運動を抑制し、脳にも働き食欲を減退させます。これらの働きにより食後高血糖を是正し、胃腸の運動を緩やかにし、また食欲を抑制することで体重減少効果が期待されます。従来少効果と認められた膵臓の疲弊、低血糖、体重増加も少ないとされています。

特に日本人は欧米人に比べ、遺伝的体質的にインスリンの分泌能が低く、軽度の肥満でもインスリン抵抗性によるインスリンの必要量の増加に対応できず、糖尿病を発症するので、ダイエット効果を期待できるGLP-1作動薬の早期治療は日本人には有効と考えられます。薬の副作用も認められますので、単なる美容目的で使用することなく必ず医師の診断のもと、服薬されることをお勧め致します。



北村内科クリニック
理事長 北村 秀綱

神戸大学医学博士。日本循環器学会循環器専門医。神戸大学病院や民間病院で20年以上多数の心臓ペースメーカーやカテーテル手術をはじめ、生活習慣病や人工透析にも携わる。現在は、専門分野である循環器・呼吸器疾患を中心に、地域のかかりつけ医として幅広い年齢の患者様を診療する。